

2025 年 1 月 16 日
共英製鋼株式会社

共英製鋼株式会社 筑波大学芸術系が主催する展示会を後援

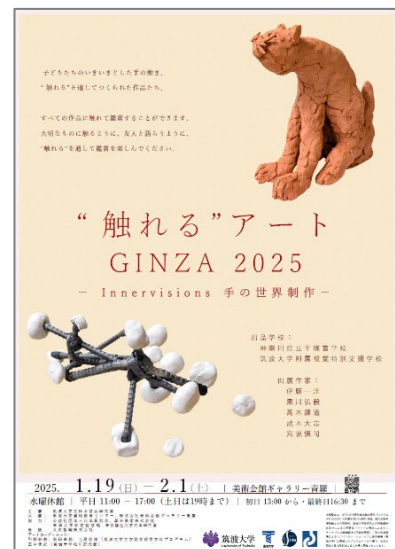
共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）は、このたび、国立大学法人筑波大学芸術系宮坂研究室が主催する展示会「“触れる”アート GINZA 2025 —Innervisions 手の世界制作—」および同大学芸術系彫塑研究室が共催する「彫刻に触れるとき『さわる』と『みる』がであう彫刻展 2025」を共同研究の活動の一環として後援いたします。両展示会とも、出品作品は全て触れることができ、視覚のみならず触覚でも鑑賞できるユニバーサルな展覧会となっております。ぜひご来場ください。

■展示会 概要

1. “触れる”アート GINZA 2025

—Innervisions 手の世界制作—

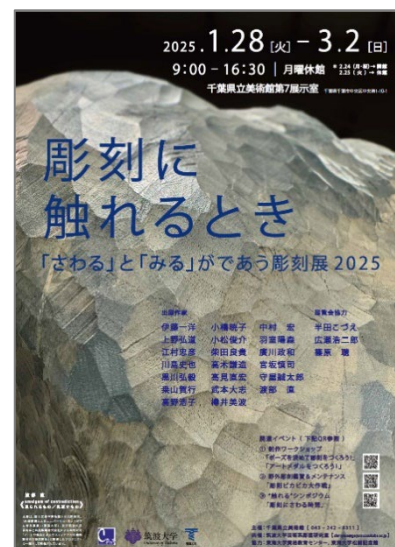
- ・会 期：2025 年 1 月 19 日(日)～2 月 1 日(土)
- ・会 場：美術会館ギャラリー青羅
- ・休館日：水曜日
- ・入場料：無料
- ・主 催：筑波大学芸術系宮坂研究室
- ・共 催：東海大学資格教育センター
株式会社美術会館ギャラリー青羅



2. 彫刻に触れるとき

「さわる」と「みる」がであう彫刻展 2025

- ・会 期：2025 年 1 月 28 日(火)～3 月 2 日(日)
- ・会 場：千葉県立美術館 第 7 展示室
- ・休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
- ・入場料：無料
- ・主 催：千葉県立美術館
- ・共 催：筑波大学芸術系彫塑研究室



■ 展示会後援の背景

共英製鋼株式会社は、アートの視点によるサステナブルな建築鋼材の可能性を開拓し、建築鋼材を活用した作品制作や、視覚障がい児のための芸術教育に取り組む国立大学法人筑波大学 芸術系 宮坂慎司准教授の研究グループの活動に共感し、2024年6月より、筑波大学との共同研究を開始しました。今後、作品制作やワークショップなどの芸術及び教育的な実践を通じ、表現活動への鋼材の応用と、共英製鋼の鋼材が有する循環型社会を支える役割を発信し、未来社会の創造に向けた意識付けを行っていきます。

■ 宮坂 慎司（みやさか しんじ）准教授について

1982年、埼玉県生まれ。筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻 修了 芸術学博士。現在、筑波大学芸術系 准教授。彫刻分野の理論・実践に関わる教育を担当。彫刻制作、具象彫刻表現に関わる技法及び素材研究、日本近代彫刻史、彫刻鑑賞支援を専門としています。2019年、千葉県立美術館での企画展をきっかけに、同館と協働した彫刻関連の事業に関わり、2022年度からは「彫刻に触れるとき「さわる」と「みる」がであう彫刻展」を開催。視覚に障がいのある鑑賞者を対象とした「触れる鑑賞」の実践を重ね、視覚だけに頼らない触覚的表現と、鑑賞支援のあり方に関する研究に取り組んでいます。第10回日展会員賞、令和3年度茨城県芸術祭美術展覧会 茨城新聞社賞、第49回日彫展 西望賞他、受賞多数。

■ 共英製鋼株式会社について

共英製鋼株式会社は、日本の戦後の復興に欠かせない鉄づくりに携わりたいとの思いから1947年に設立。電炉メーカーとして鉄筋や形鋼などの鉄鋼製品の製造を行い、現在、建築物や社会インフラの基礎部分などに使用される鉄筋コンクリート用棒鋼の出荷量においては国内1位のシェアを有しています。また、1988年に産業廃棄物や医療系廃棄物を電気炉で完全無害化する技術を独自に開発し、鉄鋼事業と環境リサイクル事業を同時に行う資源循環型事業を手掛けています。2024年6月より、使用済みの注射針などの医療廃棄物を電気炉で溶融処理しながら製造した鋼材を「エシカルスチール」とブランド化し、販売を開始しました。

当社ウェブサイト：<https://www.kyoeisteel.co.jp/>

お問い合わせ先：共英製鋼株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

kys_cc@kyoeisteel.co.jp 06-6346-5222